

重要取組シート

泉北ニューデザイン推進室

取組項目		スマートシティの推進
現状・課題		・「SENBOKU New Design (2021 年 5 月策定)」の取組分野のひとつとして「スマートシティ」を設定。また、「堺スマートシティ戦略 (2021 年 5 月策定)」において、泉北ニュータウン地域を重点地域に定め、「モビリティ」や「ヘルスケア」など 5 分野について、住民ニーズに基づく地域の課題解決や新たな価値の創造によって、地域の魅力を高めることをめざす。 ・大阪府の「大阪スマートシティ戦略 Ver2.0 (2022 年 3 月策定)」で、泉北ニュータウン地域を課題解決型スマートシティ推進のチャレンジフィールドとして位置付け。 ・SENBOKU スマートシティコンソーシアム (2022 年 6 月設立、以下「コンソーシアム」という。) の会員企業等との連携により、2022 年度は 11 件、2023 年度は 15 件の実証事業を実施。今後は実証事業の結果を踏まえ、サービス化に向けての改善や利用者増に取り組む必要がある。 ・コンソーシアムの運営を強化し、会員企業等による新たなサービス等の創出を図る必要がある。
取組の内容		・154 団体 (2024 年 3 月末現在) が参加するコンソーシアムの運営を通じて、地域の課題解決や新たな価値の創造に資するサービス提供に向け、会員企業等の持つソリューションや強みを組み合わせるなど、新たなサービス創出の支援を行う。 ・検討されたサービスについて、泉北ニュータウン地域をフィールドとした実証事業を公民連携により進め、合わせて実装に向けた事業改善や利用者増などに取り組む。
スケジュール	前期 (～7 月)	☐ 実証・実装事業に係る公民連携の検討・調整 (通年) ☐ コンソーシアムの運営・情報発信 (通年) ☐ スマホ講座の実施 (通年) ☐ コンソーシアム実行計画の策定検討 (4 月～) ☐ 第 3 弾 AI オンデマンドバス実証事業の検討 (4 月～) ☐ 地域ポータル「せんポケ」実証事業の継続 (4 月～) ☐ 会員企業の事業創出支援制度の募集開始 (5 月～)
	中期 (～11 月)	☐ 実証事業の実施 (8 月～) ☐ 第 3 弾 AI オンデマンドバス実証事業の調整・実施 (8 月～) ☐ 地域ポータル「せんポケ」実証事業の検証 (9 月～) ☐ 会員企業と協働したイベント等の開催 (10 月～) ☐ 会員企業の事業創出支援制度の対象事業決定及び実施 (8 月～)
	後期 (～3 月)	☐ 会員企業の事業創出支援制度の総括・効果検証 (3 月～) ☐ 実証・実装事業の総括・効果検証 (3 月～) ☐ 第 3 弾 AI オンデマンドバス実証事業の検証 (3 月～) ☐ コンソーシアム年次総会の開催 (3 月)
	次年度以降	☐ 実証・実装事業に係る公民連携の検討・調整 ☐ 実証・実装事業のサービス改善・利用促進

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 実証・実装事業に係る公民連携の検討・調整（通年） ☐ コンソーシアムの運営・情報発信（通年） ☐ スマホ講座の実施（通年） ☐ コンソーシアム実行計画の策定検討（4月～） ☐ 第3弾 AI オンデマンドバス実証事業の検討（4月～） ☐ 地域ポータル「せんぽけ」実証事業の継続（4月～） ☐ 会員企業の事業創出支援制度の募集開始（6月～） ☐ 電動サイクルシェアリング実証事業の実施（7月～）		
	中期 (～11月)	☐ 第2弾高齢者見守りサービスの実証事業の実施（9月～11月） モビリティハブ「泉北ぷらっと」実証（11月～） 歩行領域モビリティ「COMOVE（コモビ）」シェアリング実証（11月～） ☐ 第3弾 AI オンデマンドバス実証事業の実施（10月～） ☐ 地域ポータル「せんぽけ」実証事業の検証（9月）、継続（10月～） ☐ 会員企業と協働したイベント等の開催（11月） ☐ 会員企業の事業創出支援制度の対象事業決定及び実施（9月～）		
	後期 (～3月)	☐ 会員企業の事業創出支援制度の総括・効果検証（3月） ☐ 実証・実装事業の総括・効果検証（3月） ☐ 第3弾 AI オンデマンドバス実証事業の検証（3月） ☐ 地域ポータル「せんぽけ」実証事業の検証（3月） ☐ コンソーシアム年次総会の開催（3月）		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4-（1）-③ スマートシティ推進による暮らしの質の向上 重点地域における先行的な取組の実施		
	寄与する KPI	—		目標値（2025年度） —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	—		目標値（2025年度） —